

クラス番号	612	担当教員名	山崎 康一郎
テーマ	「よりそう」支援実践のために自分自身と相手を深く知ろう		
著書・論文	『放課後等デイサービスハンドブック 子どもたちのゆたかな育ちのために』 障害のある子どもの放課後保障全国連絡会編 p105-116		
研究課題等	「障害児入所施設における生活支援と心理的援助に関する支援者の意識—知的障がい児への心理的援助について—」『福祉心理学研究』12(1) p42-53		

ゼミナール概要

キーワード：心理的ケア、治療的養育、子ども虐待、認知行動療法、療育

【目的】

生命科学や情報技術が著しく進展し、生命や障害に対する考え方が多様化する等価値観や生活が大きく変化する中において、人や社会をより深く理解し、新しい価値を創造できるような多様な視点を持つてほしいと思います。

また、心理臨床に触れつつ、支援現場の高度なニーズに応えられるようにスキルを高めてほしいと思います。

【教員の関心事項】

福祉領域における支援、特に心理的ケアに関心をもっています。特に、以下の事柄に取り組んでいます。

- ①児童養護施設、福祉型障害児入所施設、ファミリーホームといった、子ども達が生活している場において被虐待経験のある子どもへの心理治療的な生活支援
- ②障害のある子どもや家族の抱える心理的困難の理解と支援
- ③非行・犯罪行為（特に性加害行為）のあった知的障害者への福祉サービスによる支援と心理教育による地域生活支援

【内容】

★自分自身や他者の思いを知り、深く理解するための視点や方法を身に付けていきましょう。

卒業論文

現場での支援実践や子ども、障害のある方はじめ様々な支援を必要とする方のかかわりを通して、関心のあるテーマや課題をみつけていきます。漠然としたテーマや大きな問題意識を多様な視点から検討して明確にします。目的に適した方法を用いて解決策をみつけていきます。根拠を示しながら、テーマに関する新しい発見や問題意識に対する解決策を提示します。卒業論文の作成を通じて、このような課題を解決し、状況を改善するプロセスを学んでいきたいと思っています。

【運営方針】

全体を通じて、学生同士で学び合ってほしいと思います。また、支援の現場から、子ども、障害のある方、その家族との出会いから多くを学んでほしいと思っています。

【授業計画】

★学び合える環境づくりと当事者から学ぶことを目的に、学生間の交流や現場での体験を行いたいと思います。

卒業論文

3年生：関心のあることから問題意識をはっきりさせていき、テーマをしばって、何を明らかにしたいのか考えていきます。文献を調べたり、支援現場に足をはこんだり、議論したりしながら進めていきます。

3年次後半から4年次前期：調査、データの収集を行います。

4年生：データを分析しながら、卒業論文にまとめていきます。

担当教員からのメッセージ

私は大学3年生の時に保育士（当時は保母）を取得し、大学卒業後は、児童福祉施設で保育士、児童指導員として勤務しました。その中で、被虐待経験や非行など困難な問題に直面し、子どもや家族を支援するスキルを高める必要に迫られ、仕事を継続しつつ進学して社会福祉士、臨床心理士を取得しました。支援を必要とする方のために学び続けることが求められます。人に関心があり、様々な体験にひたかりをもって、みずから、みて、聴いて、考えて、学んでいける姿勢を持つてほしいと思います。また、心理的なことに関心がある方は、内省すること、人とのかかわりを楽しめること、自分自身の開示できることが求められます。